

参 考 资 料

館山市 男女共同参画 市民意識調査

市民意識調査ご協力のお願い

平素は、館山市における男女共同参画の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

館山市は、平成19年度に「第2期館山市男女共同参画推進プラン～女と男が共に支えあい、共に輝く社会の実現～」を策定し、男女が対等なパートナーとしてあらゆる分野に参画し、お互いに尊重し、責任を分かち合うことのできる社会の実現を目指し、男女共同参画の推進につとめてきたところでございます。

このたび、今後の男女共同参画施策を推進する上での基礎資料とするため、『館山市男女共同参画市民意識調査』を実施し、男女共同参画に関する市民の皆さまの声やご意見をお聞かせいただくことといたしました。

この調査は、館山市にお住まいの満20歳以上の方を無作為に1,000人抽出し、アンケート用紙を送付させていただきました。お忙しいところ、お手数をおかけし、誠に恐縮ではございますが、アンケート用紙にご回答いただき、同封の返信用封筒に入れ、

4月27日（金）までに ご投函下さいますようお願いいたします。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますよう、よろしくお願いいたします。

平成24年4月10日

館山市長 金丸 謙一

ご記入にあたってのお願い

- この調査票は、封筒の宛名のご本人が記入して下さい。
- この調査の回答については、あてはまる番号を○で囲んで下さい。
また、お答えが「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的な内容をご記入下さい。
(最後のページにも自由意見を記入できる欄を設けています。)
なお、本調査は、統計的に処理いたしますので、個人情報の漏洩など、ご迷惑のかかることは一切ございません。
思いのままをお答えいただければ結構です。
- 設問によって、回答が「1つだけ」、「3つまで(複数)」などと限定されている場合がありますので、その指示に従って回答して下さい。
- 設問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、設問のことわり書きをよくお読み下さい。

【調査に関するお問合せ先】

館山市市長公室企画課 企画係
〒294-8601 館山市北条1145-1
Eメール:kikakuka@city.tateyama.chiba.jp

TEL:(0470)22-3163
FAX:(0470)23-3115

館山市男女共同参画市民意識調査票

■男女平等に関する考え方についておたずねします。

問1 あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。次の(ア)～(キ)のそれぞれについてあなたの考えに最も近いものを1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

	男性が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が非常に優遇されている	どちらともいえない
(ア) 社会全体で	1	2	3	4	5	6
(イ) 家庭のなかで	1	2	3	4	5	6
(ウ) 職場のなかで	1	2	3	4	5	6
(エ) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
(オ) 政治の場で	1	2	3	4	5	6
(カ) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(キ) 社会通念・慣習で	1	2	3	4	5	6

■男女共同参画に関する用語についておたずねします。

問2 次にあげる言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。次の中から該当するものすべてを選んで、番号に○をつけてください。

1. 男女共同参画社会基本法
2. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)
3. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)
4. 男女雇用機会均等法
5. 女子差別撤廃条約
6. ポジティブ・アクション(積極的改善措置)
7. 性差医療(性差に基づいた医療)
8. ジェンダー(社会的文化的につくられた性別)
9. 館山市コーラル会議
10. 見たり聞いたりしたものはない

■家庭についておたずねします。

問3 あなたは現在、結婚していますか。次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 結婚している(未婚だがパートナーと暮らしている方を含む) (問4へ)	2. 離別・死別 (問7へ)	3. 未婚 (問7へ)
--	-------------------	----------------

問4 **問3で「1. 結婚している」とお答えの方に伺います。**
 あなた方ご夫婦は、共働きをしていますか。(自営業・パート・内職含む)
次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 共働きをしている	2. 共働きをしていない
-------------	--------------

問5 **問3で「1. 結婚している」とお答えの方に伺います。**
 あなたのご家庭では、次の(ア)～(キ)にあげるような日常的な仕事は、主にどなたがしていますか。**次の中から1つずつ選んで、番号に○をつけてください。**

	主に夫が行っている	主に妻が行っている	夫婦とも同じくらい行っている	主にその他の人が行っている	子どもや高齢者はいない
(ア) 食事の支度・あとかたづけ	1	2	3	4	
(イ) 掃除・洗濯	1	2	3	4	
(ウ) 食料品・日用品等の買物	1	2	3	4	
(エ) 役所等への用事・書類の作成	1	2	3	4	
(オ) 乳児・幼児の世話(現在、または過去に)	1	2	3	4	5
(カ) 子どもの学校行事等への参加(現在、または過去に)	1	2	3	4	5
(キ) 高齢者の世話(介護)(現在、または過去に)	1	2	3	4	5

問6 **問3で「1. 結婚している」とお答えの方に伺います。**
 では、あなたは理想として、次の(ア)～(キ)にあげるような日常的な仕事は、どのように分担するのがよいと思いますか。
次の中から1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

	主に夫が行う	主に妻が行う	夫婦とも同じくらい行う	主にその他の人が行う	子どもや高齢者はいない
(ア) 食事の支度・あとかたづけ	1	2	3	4	
(イ) 掃除・洗濯	1	2	3	4	
(ウ) 食料品・日用品等の買物	1	2	3	4	
(エ) 役所等への用事・書類の作成	1	2	3	4	
(オ) 乳児・幼児の世話	1	2	3	4	5
(カ) 子どもの学校行事等への参加	1	2	3	4	5
(キ) 高齢者の世話(介護)	1	2	3	4	5

■防災・災害復興対策についておたずねします。

問7 あなたは、防災・災害復興対策に、女性の視点に配慮した対応がとられる必要があると思いますか。
次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 必要がある
2. どちらかといえば必要がある
3. 必要ない
4. どちらかといえば必要ない
5. わからない

問8 防災・災害復興対策で女性の視点に配慮して取り組む必要があると思うものは何ですか。
次の中から該当するものすべて選んで、番号に○をつけてください。

1. 避難所の設置・運営体制
2. 被災者に対する相談受付体制
3. 食料、飲料水、医薬品の備えや供給体制
4. 救援医療体制
5. 災害時の正確・迅速な情報連絡体制
6. 特にない
7. その他(具体的に:)
8. わからない

■教育についておたずねします。

問9 あなたは、子どもの教育における男女平等の意識についてどう思いますか。
次の(ア)～(イ)のそれぞれについて1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	どちらともいえない
(ア) 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい	1	2	3	4	5
(イ) 性別にとらわれず、男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけることが必要である	1	2	3	4	5

■人権についておたずねします。

問10 あなたは、女性の人権が侵害されていると感じるのは、どのようなことについてでしょうか。
次の中から該当するものすべて選んで、番号に○をつけてください。

1. 売春・買春・援助交際
2. レイプ(強姦)などの女性への性暴力
3. 痴漢等のわいせつな行為
4. ストーカーなどのつきまとい行為
5. 夫婦生活における一方的セックスの強要
6. 配偶者からの暴力
7. 職場等におけるセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)
8. 女性の体の一部などを内容と無関係に使用した広告
9. その他(具体的に:)
10. 特に感じない
11. わからない

■社会活動等への参画についておたずねします。

館山市では、男女が対等な立場で参画していくことが、男女共同参画の実現に不可欠とし、審議会などの女性委員の登用率を、国・県と同様に「30%」まで引き上げるといった数値目標の設定があります。

問11 平成23年4月1日現在の登用率は「26.22%」で、まだ充分とはいえません。このことについてどのように思いますか。
次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 現状でよい
2. 女性がもう少し増えたほうがよい
3. 男女半々ぐらいまで増えたほうがよい
4. 女性の方が多いい審議会があってもよい
5. 性別にこだわる必要はない
6. その他()
7. わからない

問12 次にあげる地域活動の中で、あなたが「現在、企画から実行までの一連の取組み(参画)をしているもの」はどれですか。
次の中から該当するものすべて選んで、番号に○をつけてください。

1. 趣味・スポーツ、教養・学習・文化に関する活動
2. 町内会・自治会、青年団・女性会・老人クラブなどに関する活動
3. 保育園・学校等の保護者会・PTA活動、子ども育成会活動
4. 青少年健全育成に関する活動
5. 男女平等や女性問題について学習する会など男女共同参画に関する活動
6. 消費者問題に関する活動(生協のリーダーなど)
7. 社会福祉分野での活動
8. 保健・衛生・医療分野での活動
9. 自然保護・公害防止など、環境問題に関する活動
10. 国際交流・国際協力・国際平和に関する活動
11. NPO, ボランティア団体等での活動
12. その他(具体的に:)
13. いずれもない

■働き方についておたずねします。

問13 あなたの職業は次の中でどれにあたりますか。次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

自営業主	1. 農林漁業 (農業、林業、畜産業、漁業などの自営主) 2. 商工サービス業 (商店、飲食店、理髪店、修理業など) 3. 自由業 (弁護士、開業医、芸術家など)
家族従業者	4. 農林漁業 (農業、林業、畜産業、漁業などの自営主) 5. 商工サービス業 (商店、飲食店、理髪店、修理業など) 6. 自由業 (弁護士、開業医、芸術家など)
勤務者	7. 管理職 (民間会社・団体・官公庁の課長級以上、大学の講師以上、学校の教頭以上) 8. 専門・技術職 (技術研究員、勤務医師、看護師、教員、保育士、美容師など) 9. 事務職 (一般事務員、営業員など) 10. 労務職 (一般工員、建築作業員、運転手など) 11. パート、アルバイト、内職など
無職	12. 専業主婦・専業主夫 13. 学生 14. その他の無職 (年金、金利生活者など) 15. その他 (上記1～14まで該当しない方については具体的に:)

問14 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。
次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

1. そう思う	2. そう思わない	3. どちらともいえない
---------	-----------	--------------

問15 働いている方(自営業主・家庭従業者の方を含む)に伺います。

(1)あなたの職場では、男性職員が有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。
次の中から一つずつ選んで、番号に○をつけてください。

	取りやすい	えど ば ち ら か と い 取りやすい	えど ば ち ら か と い 取りにくい	取りにくい	どちらとも い え ない
(ア)有給休暇	1	2	3	4	5
(イ)育児休業	1	2	3	4	5
(ウ)介護休業	1	2	3	4	5

(2)あなたの職場では、**女性職員**が有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。
次の中から一つずつ選んで、番号に○をつけてください。

	取りやすい	えど ば い 取 り か や す い	えど ば い 取 り か と い	取りにくい	ど ち ら と も い え な い
(ア)有給休暇	1	2	3	4	5
(イ)育児休業	1	2	3	4	5
(ウ)介護休業	1	2	3	4	5

問16 あなたは、一般的に女性が職業をもつことについて、どのように考えますか。
次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 女性は職業をもたない方がよい
2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
5. 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
6. その他()
7. わからない

問17 一般的に、男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。
次の中から3つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 代替要員の確保など、育児・介護休養制度を利用しやすい職場環境を整備すること
2. 育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援を充実すること
3. 地域の保育所や学童保育の整備、保育時間の延長など保育内容を充実すること
4. 職場内に保育施設を整備すること
5. 病時保育を充実させること
6. 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入すること
7. 残業を減らすなど、年間労働時間を短縮すること
8. 子育てや介護などを理由に退職した者をもとの職場で再雇用する制度を導入すること
9. 男性中心の職場運営を見直すこと
10. 賃金や昇進などの男女間格差をなくすこと
11. パートタイマーなど非正規職員の労働条件を改善すること
12. 男女が共に仕事と家庭を両立していくことに対して、家族など周囲の理解と協力があること
13. その他(具体的に:)
14. わからない

■今までお伺いしたことを統計的に分析するために、
あなた自身のことについておたずねします。

F1 あなたの性別はどちらですか。次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F2 あなたの年齢はおいくつですか。次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60～69歳 | 6. 70歳以上 |

F3 現在、館山市のどちらにお住まいですか。
次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1. 館山地区 | 2. 北条地区 | 3. 那古地区 | 4. 船形地区 | 5. 西岬地区 |
| 6. 神戸地区 | 7. 富崎地区 | 8. 豊房地区 | 9. 館野地区 | 10. 九重地区 |

F4 あなたの世帯は、次のどれにあたりますか。ご自分の立場(自分が親、自分が子ども)にかかわらず、
世帯構成をお答えください。
次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ(一世代世帯) |
| 3. 親と未婚の子ども(核家族) | 4. 親と子ども夫婦(二世代世帯) |
| 5. 親と子どもと孫(三世代世帯) | 6. その他() |

F5 お子さんはいますか。次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

男女共同参画に関してご意見がありましたらお書きください。

◎男女共同参画について:

◎仕事に関することについて:

◎教育に関することについて:

◎その他:

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒で、4月27日(金)までにご投函下さい。

平成24年度
館山市 男女共同参画 市民意識調査
平成25年3月発行

発行者 千葉県館山市市長公室企画課
住 所 千葉県館山市北条1145-1
電 話 0470-22-3147